



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月12日

上場会社名 株式会社名村造船所

上場取引所

東

コード番号 7014

URL <https://www.namura.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 名村 建介

問合せ先責任者(役職名) 取締役兼常務執行役員経營業務本部長 (氏名) 向 周 (TEL) 06-6543-3561

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	115,303	△4.5	19,480	△18.2	21,667	△13.3	15,359	△31.8
2025年3月期第3四半期	120,721	24.5	23,814	103.8	24,984	82.6	22,523	95.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 24,127百万円(0.0%) 2025年3月期第3四半期 24,118百万円(31.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	221.22	219.36
2025年3月期第3四半期	324.71	322.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	251,033	126,045	49.9
2025年3月期	209,037	105,142	50.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 125,263百万円 2025年3月期 104,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	20.00	—	30.00	50.00
2026年3月期	—	20.00	—		
2026年3月期(予想)				20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	160,000	0.5	26,000	△11.8	26,000	△11.9	18,000	△31.4
								259.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	69,475,551株	2025年3月期	69,385,551株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	9,851株	2025年3月期	9,411株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	69,429,927株	2025年3月期3Q	69,364,289株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する説明	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する説明

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	120,721	115,303	△5,418	△4.5%
営業利益	23,814	19,480	△4,334	△18.2%
経常利益	24,984	21,667	△3,317	△13.3%
法人税等合計	2,296	6,239	3,943	171.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	22,523	15,359	△7,164	△31.8%

当第3四半期連結累計期間の為替レートは以下のとおりです。

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	差額
売上高平均レート(第3四半期連結累計期間)(注1)	150.07円/US\$	149.66円/US\$	0.41円 円高
期末レート(第3四半期連結会計期間末)(注2)	158.18円/US\$	156.56円/US\$	1.62円 円高

(注1)売上高平均レートは、「為替予約済レートを含む円換算売上高総額」÷「ドル建て売上高総額」であります。

(注2)未入金かつ未予約のドル建売上高は当第3四半期連結会計期間末のレートでもって円換算しております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、中核である新造船事業ではハンディ型撒積運搬船をグループの主力商品と位置付けながら、軸足を段階的にLNG二元燃料船を含む大型撒積運搬船などのプロダクトミックスに移してまいりましたが、期初計画以上に工事が順調に進捗し、他事業部門も概ね計画通りに推移した結果、売上高は115,303百万円、営業利益は19,480百万円、経常利益は21,667百万円、税金等調整前四半期純利益は21,667百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は15,359百万円となりました。

当社および函館どつく株式会社は、政府のグリーントランスフォーメーション(GX)経済移行債を活用した支援を受けてゼロエミッション船等の建造に必要な新鋭設備の投資に着手しており、2029年度までの両社のGX関連投資は総額約290億円、内補助金交付額は最大約97億円とする計画であります。

これらの設備投資により、名村グループはIMO(国際海事機関)のGHG削減戦略に掲げられた2050年頃までの排出ゼロに向けて様々な取組みを進めてまいります。

＜セグメント別概況＞

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	増減率
新造船	94,640	91,123	△3,517	△3.7%	22,206	19,601	△2,605	△11.7%
修繕船	17,084	14,936	△2,148	△12.6%	2,866	1,296	△1,570	△54.8%
鉄構・機械	4,241	4,362	121	2.9%	108	265	157	146.6%
その他	4,756	4,882	126	2.7%	501	682	181	35.9%
計	120,721	115,303	△5,418	△4.5%	25,681	21,844	△3,837	△14.9%
消去又は全社	—	—	—	—	△1,867	△2,364	△497	—
連結	120,721	115,303	△5,418	△4.5%	23,814	19,480	△4,334	△18.2%

〈新造船事業〉

当第3四半期連結累計期間の売上高は91,123百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は19,601百万円（前年同期比11.7%減）となりました。

前期はハンディ型撒積運搬船を当社伊万里事業所と函館どつく株式会社における主力商品として連続建造する戦略を推し進めた結果、建造量拡大が業績に大きく寄与しました。当期はハンディ型撒積運搬船を主力商品としつつ、今後大量の代替需要が見込まれる大型撒積運搬船の建造とのプロダクトミックスに取り組む移行期としたために、一時的に操業量を低下させたことやインフレの影響により、前年同期比で減収減益となりましたが、プロダクトミックスが順調に進んだことによる原価削減に円安基調が相まって、この第3四半期は第2四半期累計期間に比べ営業利益の改善に繋がりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、ハンディ型撒積運搬船等10隻、大型撒積運搬船3隻を完工し、いずれも環境規制に適応したハンディ型撒積運搬船5隻と大型撒積運搬船8隻を受注した結果、当第3四半期連結会計期間末の受注残高は440,091百万円（前年同期比15.1%増）となりました。

〈修繕船事業〉

佐世保重工業株式会社と函館どつく株式会社が担う修繕船事業においては、当第3四半期連結累計期間の売上高は14,936百万円（前年同期比12.6%減）、営業利益は1,296百万円（前年同期比54.8%減）となりました。当期は主力の国内艦艇の工事が減少したため操業量が低下し、米海軍向け艦艇工事や技術難易度が高い民間船の大型修繕工事を完工したものの、前年同期比で減収減益となりました。

当第3四半期連結会計期間末の受注残高は12,057百万円（前年同期比42.7%増）であります。

〈鉄構・機械事業〉

当第3四半期連結累計期間の売上高は4,362百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は265百万円（前年同期比146.6%増）となりました。鉄構橋梁部門においては、操業度の低い状況が続いておりますが、船用機械部門においては、主力商品である船用エンジン用クランクシャフトの事業環境が改善し、原価削減も進展したことから、前年同期比で増収増益となりました。

当第3四半期連結会計期間末の受注残高は、鉄構橋梁部門において大型案件を連続受注したこともあって、8,433百万円（前年同期比20.5%増）となりました。

〈その他事業〉

当第3四半期連結累計期間は事業環境の好転もあって売上高は4,882百万円（前年同期比2.7%増）、営業利益は682百万円（前年同期比35.9%増）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の受注残高は1,852百万円（前年同期比12.5%減）であります。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2025年12月31日)	増減
総資産	209,037	251,033	41,996
負債	103,895	124,988	21,093
(内有利子負債)	(17,726)	(15,664)	(△2,062)
純資産	105,142	126,045	20,903
(内利益剰余金)	(49,099)	(60,988)	(11,889)
自己資本比率	50.0%	49.9%	△0.1ポイント
有利子負債比率	17.0%	12.5%	△4.5ポイント

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、新造船の受注増による現金及び預金の増加や保有する投資有価証券の時価上昇などから、前連結会計年度末に比べて41,996百万円増加し、251,033百万円となりました。

負債は、新規受注案件の増加に伴う契約負債の増加などにより前連結会計年度末に比べて21,093百万円増加し、124,988百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益を15,359百万円計上したこと等から、前連結会計年度末に比べて20,903百万円増加して126,045百万円となり、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は総資産が大きく増加したことから0.1ポイント減の49.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期(第127期)の連結業績予想につきましては、本日公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	90,140	108,468
受取手形、売掛金及び契約資産	40,099	48,547
商品及び製品	70	112
仕掛品	3,156	3,118
原材料及び貯蔵品	1,966	1,715
その他	5,879	7,231
流動資産合計	141,310	169,191
固定資産		
有形固定資産	33,517	34,664
無形固定資産	473	493
投資その他の資産		
投資有価証券	32,552	45,649
その他	1,185	1,036
投資その他の資産合計	33,737	46,685
固定資産合計	67,227	81,842
資産合計	209,037	251,033
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,475	16,441
電子記録債務	4,502	5,765
短期借入金	4,873	5,262
未払法人税等	2,460	2,503
契約負債	40,807	59,355
工事損失引当金	243	92
保証工事引当金	634	559
その他の引当金	79	7
その他	8,337	5,723
流動負債合計	78,410	95,707
固定負債		
長期借入金	12,853	10,402
その他の引当金	302	291
退職給付に係る負債	5,112	5,424
その他	7,218	13,164
固定負債合計	25,485	29,281
負債合計	103,895	124,988

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,200	8,324
資本剰余金	27,083	27,207
利益剰余金	49,099	60,988
自己株式	△6	△8
株主資本合計	84,376	96,511
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,323	27,060
繰延ヘッジ損益	△15	68
為替換算調整勘定	1,042	1,037
退職給付に係る調整累計額	706	587
その他の包括利益累計額合計	20,056	28,752
新株予約権	332	332
非支配株主持分	378	450
純資産合計	105,142	126,045
負債純資産合計	209,037	251,033

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	120,721	115,303
売上原価	92,165	90,172
売上総利益	28,556	25,131
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,740	2,162
その他	3,002	3,489
販売費及び一般管理費合計	4,742	5,651
営業利益	23,814	19,480
営業外収益		
受取利息	38	129
受取配当金	1,158	1,385
為替差益	182	773
持分法による投資利益	30	59
その他	107	284
営業外収益合計	1,515	2,630
営業外費用		
支払利息	143	217
その他	202	226
営業外費用合計	345	443
経常利益	24,984	21,667
税金等調整前四半期純利益	24,984	21,667
法人税、住民税及び事業税	2,733	4,177
法人税等調整額	△437	2,062
法人税等合計	2,296	6,239
四半期純利益	22,688	15,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	165	69
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,523	15,359

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	22,688	15,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,618	8,740
繰延ヘッジ損益	△70	83
為替換算調整勘定	34	△5
退職給付に係る調整額	△138	△119
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	—
その他の包括利益合計	1,430	8,699
四半期包括利益	24,118	24,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,961	24,056
非支配株主に係る四半期包括利益	157	71

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	94,640	17,084	4,241	4,756	120,721	—	120,721
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	421	421	△421	—
計	94,640	17,084	4,241	5,177	121,142	△421	120,721
セグメント利益	22,206	2,866	108	501	25,681	△1,867	23,814

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,867百万円には、セグメント間取引消去△11百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,856百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	新造船	修繕船	鉄構・機械	その他			
売上高							
外部顧客への売上高	91,123	14,936	4,362	4,882	115,303	—	115,303
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	363	363	△363	—
計	91,123	14,936	4,362	5,245	115,666	△363	115,303
セグメント利益	19,601	1,296	265	682	21,844	△2,364	19,480

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,364百万円には、セグメント間取引消去△19百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△2,345百万円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務部、経営管理部等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	2,497百万円	2,782百万円